

降誕節第7週 主日礼拝

2018年2月11日

第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(都合により休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『マタイの福音書』6章31-33節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌10「天地に勝る」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌345「沖へ出でよ」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』5章1-11節(新約116頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「何度でも」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌404「弟子となし給え」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	渡邊 智子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌61「御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

第一礼拝	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山 勝三兄 会：山岸あけみ姉 小山 千春姉	映像・音響：片山 浩司兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：片山 初子姉 掃除：猪爪 和美姉

説教メモ

- すでに弟子だったが(ヨハ1:35-42、ルカ4:38-39)まだ生活を引きずっていたペテロたちへの再召命。
- まことの弟子とは世捨て人ではなく、世に責任を持ちながらも、主を喜ばせることに人生の関心を置く者。
- 「これから後、人間をとるように」(10)。主は今日までの実績は問わないが、経験を生かしてくださる方。

先週の暗唱聖句

「イエスはこのことを最初のしるしとしてガリラヤのカナで行い、ご自分の栄光を現された」
(『ヨハネの福音書』2章11節)

今週の暗唱聖句

「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう」
(『マルコの福音書』1章17節)

(牧師のサイン：)

個人、団体からの来信

2018年2月11日

ブラジル宣教ニュースレター「ブラジリアの風」No.17/東京基督教大学より領収書/
宣教区壮年会の食事会[2月17日(土)12:00~ 新津福音キリスト教会にて]再案内/
「新潟朝教会通信」第177号ほか/長岡福音キリスト教会より新会堂建築のための祈りと献金をお願い

先週の集会出席者数

2/4(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-		
		幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性2		
	第一礼拝	男3 女4	2/5(月)	※月に一回、実用書道教室を開催
	聖餐礼拝	男11 女18 計29	2/5(月)	月曜家庭集会 男1 女4
	(子ども)	男児1 女児3	2/7(水)	ネヘミヤ祈禱会 男4 女3
夕拝	男1 女1	2/9(金)	しゃべり場夕バタ 男- 女4	
		2/9(金)	金曜祈禱会 男1 女4	

諸集会のご案内

	※月に一回実用書道教室を開催。		
2/12(月・振)	(月曜家庭集会は休会)		
2/14(水)午後7:30	新潟山形僚禱会	教会堂	司会：片山 勝三兄
2/16(金)午後1:30	しゃべり場夕バタ	渡邊智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
2/16(金)午後8:00	金曜祈禱会	教会堂	
2/18(日) 四旬節第1週			
第一礼拝 午前8:00	司会説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：近伸之牧師		
第二礼拝 午前10:30	司会：片山 健司兄 集会：横堀 信子姉 笹川 清子姉	映像・音響：山崎 敬典兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：猪爪 和美姉 掃除：片山 初子姉
礼拝の予定	聖書：『ルカの福音書』14章25-35節		
午後の予定	教会総会	午後1:00~	礼拝堂
夕拝	(都合により休会)		

報告

- 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばを心に刻み一週間を歩みましょう。
- 教会内外の予定
本日 午後4:00 「信教の自由」講演会 新潟福音教会にて
2月12日(月・振) 午前10:30より 当教会有志にて城山温泉交わり会
同日 午後1:00より 宣教区会議 新潟福音教会にて
2月17日(土) 12:00より 宣教区壮年会の食事会 新津福音キリスト教会にて
各行事が守られますように。
-

私たちは毎日、光の恩恵の中で生きてい
言うことができましょう。昼は太陽の光の恩恵を
被り、夜でも人間の作り出した光のおかげで生
活をし、仕事もでき、遊ぶことができる。スピー
ドを競うスポーツでさえも明るい照明のもとで行
うことができるわけで、まさに現代は、光の文明の
時代と言うことができます。

そうでありながら、昔流行した歌に「どっちを向
いても真っ暗闇じゃござんせんか」というのがあ
りました。これは、今、実感となって響いてくる言
葉ではないでしょうか。

ある小学五年生のクラスで、「これから世の中
はどんどん明るくなると思う人」と尋ねたところ、
二、三人が手を挙げました。すると周りの生徒た
ちが「えーっ?」と言ったので、慌てて手を下ろし
たとのこと。「じゃあ、これから世の中はどんどん
暗くなると思う人」と言うと、さっき手を挙げた子
どもたちを含めて、全員が手を挙げたというので
す。

なぜなのでしょう。照明の明るさはどんどん増
しているのです。いやそれ以上に、私たち皆、毎
日の生活や世界を明るくしようと、ここまで文
明を築いてきたのではなかったでしょうか。科学
が進歩し、教育の程度が高まり、福祉行政など
が充実し、生活が豊かで便利になったら、私た

ちの生活や社会は明るくなるはずではなかった
のでしょうか。

それなのになんと子どもたちまでもが、これか
らの世の中、明るくなるとは思っていないという
のです。私たちが実際、耳にする毎日のニュース
は、私たちの心を暗くしてしまうものが、なんと多
いことでしょう。確かにどっちを向いても真っ暗闇
という現実が私たちを覆っています。

人間はこれまで文明という光をともして、世界
を明るくしようと努力してきました。それはそれな
りに貴重なものであることは当然ですが、それ
には限界があり、人の心にある闇までも駆逐する
ことはできませんでした。心の闇の根本は、真の
光である神に背を向け、真の光である神を閉め
出してしまっていることにあります。私たちの心と
生活に、本当の明るさを取り戻すためには、神に
背く心の闇を取り除いていただき、心の中に、真
の光なるお方を迎えることなのです。

イエス・キリストというお方は、十字架によつて
心の闇、罪を解決し、復活によって永遠の希望
の光をもたらすために、世の光としてこの世にお
いでくださったのです。



今日2月11日は「建国記念の日」。終戦後にGHQの命令によって廃止された「紀元節」(B.C.666年に
神武天皇が即位した日とされる)の日でもある。1966(昭41)年にこの日の制定が発議された際、「紀元
節の復活」という批判をそらすために「建国記念の日」と表現し、「実際に建国された日付を表すものでは
なく、建国された事実をおぼえる日である」とした。キリスト教会は「先の戦争に対する明確な悔い改めが
ないままに建国記念を設けるのは無意味である」と主張し、この日を「信教の自由を守る日」としている。



毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



2/17(土)「福音のリアリティ」根田祥一さん

キリスト教出版社「いのちのことば社」出版部編集長の根田祥一さんに2週に
わたってお話を伺います。根田さんは、長年、キリスト教の新聞、雑誌、書籍等の出
版に携わってきました。2週目は、昨年出版された本『憎しみを越えて 宣教師ディ
シェイザー 平和の使者になった真珠湾報復の爆撃手』について伺います。

この本は、第二次世界大戦時に復讐に燃え、日本襲撃に志願した青年・ディ
シェイザーの物語で、敵対していた者同士の和解と赦し、生き方や価値観が全く
新しくされるという、事実に基づく軌跡が描かれています。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、ライフライン
の協力教会です。

2017年度教会目標

「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い
出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

